



今年の年間標語

健康安全 意識を高め

目指せゼロ災金メダル



新年明けましておめでとうございます。今年の年間標語は、労働災害のない安全で快適な職場を築くために、働く人一人ひとりのかけがいのない命と健康の確保を最優先にする職場風土づくりを願って『健康安全 意識を高め 目指せゼロ災金メダル』となっています。新たな気持ちで安全で働きやすい職場を目指して邁進いたしましょう。

(公社)広島県労働基準協会三原支部 新井支部長 ならびに 三原労働基準監督署 神鳥署長より新年のご挨拶をいただきましたので掲載します。

(公社)広島県労働基準協会三原支部 新井支部長からの挨拶

新春を迎え、会員事業場におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は(公社)広島県労働基準協会三原支部の諸活動に対してご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

昨年は穏やかな拡大基調の景気が続く中で、4月には「働き方改革関連法」が施行され企業経営における労働のあり方について、大きな変革が求められた年でした。三原労働基準監督署管内で発生した労働災害により死亡された方は11月末現在2名で前年と比較して3名減ってはいるものの休業4日以上労働災害は163件で前年と比較して9件増加しています。皆様方の日々のご努力にもかかわらずこの結果は残念でありませんが、従業員の安全と健康を確保し、安心して仕事に取り組める職場を作ることが企業の発展に繋がると確信しております。

本年は東京オリンピックも開催されますが、安全で明るい話題の多い一年になって欲しいものと願っております。

(公社)広島県労働基準協会三原支部では、会員事業場の皆様のニーズにお応えするために本年も引き続き安全衛生講習や教育の拡充、改正法令の周知活動を図るなど、更に拡充したサービスが提供できるよう注力をして参りますので、皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本年が会員事業場と従業員及びその家族の皆様にとって、よき一年になりますことを心より祈念申しあげ新年の挨拶といたします。

令和2年1月1日

(公社)広島県労働基準協会三原支部長
新井 行夫



三原労働基準監督署 神鳥署長からの挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和になりまして、初めての新年を迎えることとなりました。（公社）広島県労働基準協会三原支部会員の皆様には、平素より、労働基準行政へのご支援・ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。年頭に当たり一言ご挨拶を申し上げます。



今年の夏にはいよいよ東京オリンピックが開催されることとなり、国民の期待も日に日に高まっている状況となっております。こうした中で、今年度の労働基準行政の最重点課題は、「働き方改革の推進」であり、昨年4月からは、大企業に対する時間外・休日労働の上限規制が適用となっており、今年4月からは中小企業にも適用が拡大される予定となっております。一方で、中小企業の事業主の約2割の方が、この4月からの上限規制適用をご存知ないというデータもあり、労働局、労働基準監督署一丸となって、あらゆる機会を通じまして、上限規制の適用を周知させていただいているところです。

もう一つの重点課題である労働災害の防止についてですが、三原労働基準監督署管内の死亡・休業4日以上災害発生件数は昨年11月末現在で163件となり、一昨年の同時期の154件を上回る憂慮すべき状況となっております。

また、労働局・労働基準監督署への相談総数のうち、4分の1を「いじめ・いやがらせ」に関するものが占めるなか、今年6月1日からは大企業に、令和4年4月1日からは中小事業主にも、「労働施策総合推進法」が改正・施行され、パワハラ防止措置義務が事業主に課せられることとなります。

日本は現在、今まで経験したことのないスピードで少子高齢化が進展しつつあり、人手不足も深刻化しつつあります。こういった中、女性の活躍促進や高齢者の活用が企業発展のキーとされ労働者が安心して安全に働ける職場の確立が喫緊の課題となってきています。

皆様方の企業におかれましても「働き方改革」を推進いただき、安全で安心して働ける職場の実現に向けて、具体的な取組をお願いできればと思います。最後になりますが、会員の皆様のますますのご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和2年1月1日

三原労働基準監督署長

神鳥 哲也

その他

【三原支部1月の行事】

行事	第2回三原支部幹事会	1月24日	三原市中央公民館
	分会・部会担当者会議	1月24日	三原市中央公民館